



6年生（緑の少年団）

▲開会宣言をした緑の少年団のメンバー（右端が青木団長）

第2回木戸ダム祭り

7月20日には6年生（緑の少年団）が第2回木戸ダム祭りに参加しました。そのときの感想を青木達哉団長からいただきました。

「第2回木戸ダム祭り」に参加して

広野小学校6年 青木達哉

7月20日に行われた「第2回木戸ダム祭り」は、私達、広野町緑の少年団の開会宣言で始まりました。大勢の人の前で開会宣言をするのは緊張しましたが、みんなで声を合わせて宣言したので、だんだんと緊張がほぐれました。

その後、みんなで木戸ダムの見学会に参加しました。下から見た木戸ダムは、とても大きく迫力がありました。流れ落ちる水の量も多く驚きました。ダムの中はひんやりとして寒くて、ダムを管理するための「監査廊」というトンネルがありました。階段は急で登るのに苦労しました。奥には難しそうなお機械がずらりと並んでいて、これをお操作する木戸ダムの方はすごいなと思いました。

見学会を終え外に出て、私達緑の少年団は、団員みんなで協力して、木戸ダム祭りに来た方々にごみ袋配りをして水環境をきれいにしましょうと呼びかけました。みなさん受け取ってください、ごみの持ち帰りに協力してくれました。

普段見る機会のない木戸ダムを見ることができ、とても良い経験になりました。



▲ごみ袋を配るメンバー

広野の豊かな自然を学ぶ

福島県では2006年から独自に森林環境税を導入しています。それを財源として水域の森林整備や森林環境学習が行われています。広野小学校での取り組みをご紹介します。

6年生（緑の少年団）

「まいたけ自然栽培（埋め込み作業）」

6年生（緑の少年団）の「まいたけ自然栽培（埋め込み作業）」体験は7月15日、校舎脇のパイプハウスで行われました。指導者は日本菌学会会員鈴木正範さん。児童はコナラの原木を袋づめにし、培養したものをとりだしてスコップで土をかけました。この体験で自然の恵みや木の生命力を学びました。



▲丁寧に土をかぶせる緑の少年団



▲遠藤さんの説明をメモを取りながら聞く4年生

4年生

「自然観察会」

4年生の「自然観察会」は7月14日、学校周辺で行われました。講師に福島県もりの案内人相双支部代表遠藤一善さんをお迎えし、木々や野草の特徴について学習。児童は針葉樹と広葉樹の切り株で年輪の違いを見分けたり、やまももの実を食べるなど、日ごろ気付かないような木々や野草にふれました。